

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、環境教育の目標を「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」として活動してきた。特色としては、草花・野菜の栽培活動やヤマメの飼育活動を通して、生命や自然を大切にする態度を養うとともに、省エネ活動やホタルの里づくりへの協力を通して、地域に働きかける活動を推進することにより環境保全に寄与する態度を養うことである。また、今年度は自然災害を防ぎ、人々の暮らしを支える森林の大切さを知り、森林の多い日野地区に誇りと愛着をもってほしいというねらいから、森林環境学習も行っている。

○年間活動

| 実施月 | 実施内容 |
|-------|--|
| 5月 | 稚鮎の放流と河川清掃（地域清掃） サフィニアの定植（花の学舎作り） |
| 6月 | 「日野ホタル祭」への参加（ホタルの里づくり） |
| 7月 | サルビア苗の花壇への定植（花の学舎作り） |
| | クリーン作戦①（地域清掃） 関係施設・地域へのサルビアの苗配布（花の宅急便） |
| 8月 | クリーン作戦②（地域清掃） |
| 10月 | 地域高齢者へのパンジーの苗配布（花の宅急便） |
| 12月 | パンジー苗の花壇への定植（花の学舎作り） 林業体験（間伐体験）教室（森林環境学習） |
| 11～3月 | ヤマメのふ化・飼育、地域の鮎川への放流 |
| 1月 | 木工教室（プランターカバー作り）（森林環境学習） |
| 3月 | シイタケ植菌体験（森林環境学習） |
| 通年 | 自然エネルギーを利用した水槽の管理（太陽光・風力） |
| 通年 | 紙のリサイクル、アルミ缶等有価物回収 |

○活動内容

①稚鮎の放流と河川清掃・クリーン作戦（地域清掃）

藤岡市観光課・烏川漁協の協力を得て、稚鮎を地域の鮎川3カ所で放流している。その後、鮎の住みやすい環境作りのため、河川清掃を実施し、「小さな命をいたわる心」「自然・地域を愛する心」「豊かな自然を有する故郷を誇りに思う心」を育成している。

②「日野ホタル祭」への参加

地域の自然保護団体「日野ホタルの会」と連携した「ホタルの育成」を通して環境教育を推進するとともに、地域の鮎川にホタルを呼び戻す活動を続けている。また、「日野ホタル祭」に参加し、啓発活動を行った。

③サルビアの苗・パンジーの苗の配布（花の宅急便）

学校で育てた花苗を関係施設・高齢者に届ける活動を通して、教育活動への支援施設や地域の高齢者への「感謝の心」と「敬う心」を育成している。

④ヤマメのふ化・飼育、放流

ヤマメの卵を県水産試験場から譲り受け、全校児童で水槽を担当し、ふ化・飼育、放流までを行うことで、協力・自主性・責任感や小さな命をいたわる心、自然を愛する心を育成し、地域の鮎川を生命豊かな川に戻すため、毎年行っている。

⑤森林環境学習

地域の方に提供していただいた森林を体験場所として、多野東部森林組合、藤岡森林事務所の方を講師に迎え、森林の働きや森林作業の必要性について教えてもらい、間伐体験を行った。

また、間伐材を材料にしたプランターカバー作りにも挑戦したり、原木を使ったシイタケ栽培のための植菌体験も行ったりした。

⑥自然エネルギーを利用した水槽の管理（太陽光・風力）

本校の屋上には、鮎川に沿って吹く日野谷の風を利用した3機の風力発電設備（600W）と太陽光発電設備（450W）が設置されている。バッテリーを購入し、カワナ飼育水槽の水を循環させるポンプや金魚水槽濾過器の電源として利用することで、エネルギー学習から環境学習につなげている。

また、省エネ活動として、牛乳パックのリサイクル、古紙・アルミ缶回収、なども設置している。今年度は校舎の改修工事のためグリーンカーテンは設置できなかったが、来年度以降はまた設置する予定である。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）